

●相談者のカテゴリー	
1) 患者本人	がんの診断がついている患者本人からの相談の場合に選択。
2) 家族・親戚	がんの診断がついている患者の家族(親・子供・兄弟等)・親戚からの相談の場合に選択。
3) 友人・知人	がんの診断がついている患者の友人・知人からの相談の場合に選択。
4) 一般	がん患者やがん患者の家族等でない人(一般市民・地域住民等)からの相談の場合に選択。
5) 医療関係者	相談者が、自施設あるいは他施設の医療関係のスタッフであり、患者の問題やがん医療についての相談等の対応を行った場合に選択。
8) その他	上記1)～5)に該当しない相談者からの相談の場合に選択。内容について()内に具体的に記入。
9) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。
●利用回数	* 相談者の、相談支援センターの利用回数を知るための項目。
1) 初めて	当該相談支援センターへの相談が初めての場合に選択。
2) 2回目以上	当該相談支援センターへの相談が2回目以上の場合に選択。
9) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。
6.患者本人の状況	
●年齢	患者の年齢を記入。相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合「999」と記入。
●性別	
1) 男	患者が男性の場合に選択。
2) 女	患者が女性の場合に選択。
9) 不明	患者の性別が不明な場合に選択。
●受診状況	* 相談者が「がん」医療を受けたことがあるかを確認する項目。
1) 自施設入院中	患者が自施設に入院中の場合に選択。
2) 自施設通院中	患者が自施設に通院中の場合に選択。
3) 他施設入院中	患者が他施設に入院中の場合に選択。
4) 他施設通院中	患者が他施設に通院中の場合に選択。
5) 受診医療機関なし	現在、受診している医療機関がない場合に選択。
8) その他	上記1)～5)に該当しない状況の場合に選択。内容について()内に具体的に記入。
9) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。

●現在の治療状況	
1) 診断なし(精査中含む)	患者が「がん」の診断を受けていない状態(診断前精査中含む)である場合に選択。
2) 治療前(診断後精査中含む)	患者が「がん」の診断を受けているが、治療(対症療法含め)開始前の状態(精査中・治療開始待ち・経過観察中)である場合に選択。 ⇨治療中や治療後ではない状況。初回治療に限らず。
3) 治療中	患者が現在何らかの治療(対症療法含め)を受けている場合に選択。
4) 治療後	患者が現在何らかの治療(対症療法含め)が終了した段階である場合に選択。
5) 経過観察中(概ね治療3ヶ月以降)	患者が定期的な検診などで経過観察中である場合に選択。
8) その他	上記1)~5)に該当しない状況の場合に選択。内容について()内に具体的に記入。
9) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。
●がんの状況	
1) 初発	がんが初発の場合に選択。
2) 再発・転移	がんが再発・転移の場合に選択。
8) その他	上記1)、2)に該当しない状況の場合に選択。内容について()内に具体的に記入。
9) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。
●がんの部位	* 主要5部位のがん(症例数の多いがん)についてはそれぞれの疾患名で分類。分類不明な場合には、ICD-10を参照のこと。複数回答可。
1) 眼・脳・神経	(眼・髄膜・脳・脊髄・中枢神経/C69-C72)
2) 耳鼻咽喉	(口唇・舌根・舌・歯肉・口腔底・口蓋・耳下腺・大唾液腺・扁桃・中咽頭・上咽頭・梨状陥凹・下咽頭/C00-C14) (鼻腔・中耳・副鼻腔・喉頭/C30-C32)
3) 食道	(食道/C15)
4) 胃	(胃/C16)
5) 大腸・小腸	(小腸・結腸・直腸S状結腸移行部・直腸・肛門・肛門管/C17-C21)
6) 肝・胆	(肝・肝内胆管・胆嚢・胆道/C22-C24)
7) 膵	(膵/C25)
8) 肺・縦隔・心臓	(気管・気管支・肺・胸腺・心臓・縦隔・胸膜/C33-C39)
9) 乳房	(乳房/C50)
10) 子宮・卵巣	(外陰部・膣・子宮頸部・子宮体部・卵巣・胎盤/C51-C58)
11) 前立腺・精巣	(陰茎・前立腺・精巣/C60-C63)
12) 腎・尿管・膀胱	(腎・腎盂・尿管・膀胱/C64-C68)
13) 甲状腺・副腎	(甲状腺・副腎・内分泌腺/C73-C75)

14) リンパ・血液	(リンパ・造血組織/C81-C96)
15) 骨	(骨・関節軟骨/C40-C41)
16) 皮膚	(皮膚/C43-C44)
17) 中皮腫	(中皮腫/C45)
18) 肉腫・腹膜・後腹膜	(カボジ肉腫・末梢神経・自律神経・後腹膜・腹膜/C46-C49)
19) 原発不明	(原発不明/C76-C80)
99) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。がん以外(がんの診断未)も含める。

7.相談内容

実施したすべてを選択 (複数選択可)	←相談者の相談内容に関連する項目すべてを選択。(複数選択可)
最も比重の高かった項目を選択	←複数回答した項目のうち、最も比重が高い項目を1つだけ選択。(単数回答)
1) がんの治療	がんに関する「治療」についての相談に対応した場合に選択。
2) がんの検査	がんに関する「検査」についての相談に対応した場合に選択。
3) 症状・副作用・後遺症	がんに関する「症状・副作用・後遺症」についての相談に対応した場合に選択。
4) セカンドオピニオン (一般)	「セカンドオピニオンとはどのようなことか」など、セカンドオピニオン一般に関する相談に対応した場合に選択。
5) セカンドオピニオン (受入)	相談員が所属する施設(自施設)で実施されているセカンドオピニオンに関する相談に対応した場合に選択。
6) セカンドオピニオン (他へ紹介)	他施設で実施されているセカンドオピニオンに関する相談に対応した場合に選択。
7) 治療実績	特定の部位の症例数、特定の治療法・術式の実施状況についての相談に対応した場合に選択。
8) 受診方法・入院	受診までの流れ・予約方法・診療科・入院・入院生活などについての相談に対応した場合に選択。
9) 転院	治療・療養の場の変更に関する相談に対応した場合に選択。
10) 医療機関の紹介	どこの医療機関で、治療・ケア・療養が受けられるか等の相談に対応した場合に選択。
11) がん予防・検診	「がん予防・検診」についての相談に対応した場合に選択。
12) 在宅医療	在宅医療の提供を受けるには、その実際についてなど「在宅医療」についての相談に対応した場合に選択。
13) ホスピス・緩和ケア	ホスピス・緩和ケアの提供を受けるには、その実際についてなど「ホスピス・緩和ケア」についての相談に対応した場合に選択。
14) 症状・副作用 ・後遺症への対応	現在何らかの症状があり、その不安や日常生活に関する相談に対応した場合に選択。
15) 食事・服薬・入浴 ・運動・外出	がんを抱えての「食事・服薬・入浴・運動・外出」などについての相談に対応した場合に選択。
16) 介護・看護・養育	がんを抱えての親や子どもなどの「介護・看護・養育」などについての相談に対応した場合に選択。
17) 社会生活 (仕事・就労・学業)	がんを抱えての社会生活「仕事・就労・学業」などについての相談に対応した場合に選択。
18) 医療費・生活費 ・社会保障制度	がんを抱えての「医療費・生活費・社会保障制度」などについての相談に対応した場合に選択。
19) 補完代替療法	がんを抱えての「補完代替療法」についての相談に対応した場合に選択。

20) 不安・精神的苦痛	がんに伴い生じる漠然とした不安や、強い精神的苦痛に関する相談に対応した場合に選択。
21) 告知	告知に関連する相談に対応した場合に選択。
22) 医療者との関係 ・コミュニケーション	医療者との関係やコミュニケーションについての相談に対応した場合に選択。
23) 患者－家族間の関係 ・コミュニケーション	患者－家族間の関係やコミュニケーションについての相談に対応した場合に選択。
24) 友人・知人・職場の人間 関係・コミュニケーション	友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーションについての相談に対応した場合に選択。
25) 患者会・家族会 (ピア情報)	同じような状況の人と話してみたいなど「ピア情報」(患者会・家族会やNPO、セミナー等)についての相談に対応した場合に選択。
88) その他	上記1)～25)の項目に該当しない場合に選択。内容について()内に具体的に記入。
99) 不明	相談内容が不明な場合に選択。
8.対応内容	
実施したすべてを選択 (複数選択可)	←相談者の相談内容に関連する項目すべてを選択。(複数選択可)
最も比重の高かった項目を選択	←複数回答した項目のうち、最も比重が高い項目を1つだけ選択。(単数回答)
1) 傾聴・語りの促進 ・支持的な対応	話を傾聴し、語りを促進する対応を行った場合、支持的な対応をした場合に選択。
2) 助言・提案	何らかの助言・提案を行った場合に選択。
3) 情報提供	医学的、心理社会的な内容等、何らかの情報提供を行った場合に選択。
4) 自施設受診の説明	自施設の受診方法について説明した場合に選択。
5) 他施設受診の説明	他施設の受診方法について説明した場合に選択。
6) 自施設他部門への連携	自施設の他部門に紹介するなど、他部門との連携を図った場合に選択。
7) 他施設への連携	他の医療機関に紹介するなど、他施設との連携を図った場合に選択。
8) その他	上記1)～7)の項目に該当しない場合に選択。内容について()内に具体的に記入。
9) 判断不明	対応内容が判断できない場合に選択。
9.評価	
●相談支援センターに関する情報 入手経路	
1) 医療機関スタッフ	医療機関のスタッフから相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
2) パンフレット	パンフレットから相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
3) 家族・友人・知人	家族・友人・知人から相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
4) インターネット	インターネットから相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
5) 同病者やその家族 ・患者会	同病者やその家族・患者会から相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
8) その他	上記1)～5)の項目に該当しない場合に選択。内容について()内に具体的に記入。
9) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。

●対応内容への評価	
1) 役に立つ	「役に立った」との評価であった場合に選択。
2) 役に立たない	「役に立たなかった」との評価であった場合に選択。
3) どちらでもない	「どちらでもない」との評価であった場合に選択。
9) 判断不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。
●相談支援センターの今後の活動についての要望	相談支援センターの今後の活動に関する要望が得られた場合、内容について()内に具体的に記入。

ここであげた相談記入シート上の項目は、以下の3つを目的としています。

1. 相談支援センターで対応している相談者の分布(実態)を把握するため
2. どのような「がん情報」を優先的に作成していくかについて基礎データを得るため
3. 相談者から提供した情報や支援についてのフィード・バックを受けることにより、サービスの向上とその意識をもつため

記入に際しては、忙しい業務の中でむずかしいかもしれませんが、できるだけ相談者に聞くようにしてください。

例:「相談支援センターの今後のサービス向上のため、いくつか質問させていただけないでしょうか」

⑤ 症例報告書及び指導責任者指導内容

1	相談内容の概要		
2	対応の概略		
3	感想		
4	倫理的側面		
	ナビゲータであることを説明した	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	個人情報の取り扱いに留意した	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	守秘義務があることを明言し守れた	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	医療介入を行わなかった	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5	指導責任者評価		
	<input type="checkbox"/> 優	<input type="checkbox"/> 良	<input type="checkbox"/> 可
	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 判定不能	
	指導責任者のコメント		

36

【資料5. 認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：Aセッション 群馬開催プログラム】

公益財団法人 日本対がん協会
厚生労働科学研究（がん政策研究事業）推進事業

がん医療従事者研修説明会

平成26年 9月13日(土) 午後2時 - 午後4時

群馬大学医学部 刀城会館

後援 一般社団法人日本癌治療学会 公益社団法人日本医師会
公益社団法人日本看護協会 公益社団法人日本薬剤師会

「がん医療ネットワークナビゲーター：育成制度と資格認定」
プログラム

司会 竹吉 泉

(群馬大学大学院臓器病態外科学 教授 日本癌治療学会：がん診療連携委員会/
認定ネットワークナビゲーター制度委員会 委員)

➤ 14：05～14：10

『がん診療ナビゲーターの役割』

西山 正彦

(群馬大学大学院病態腫瘍薬理学 教授 日本癌治療学会 理事長)

➤ 14：10～14：15

『群馬県のがん対策推進事業』

山崎 浩通

(群馬県健康福祉部 がん対策推進室 室長)

➤ 14：15～14：25

『がん診療連携バスの運用と実態』

齋藤 繁

(群馬大学大学院麻酔神経科学 教授 地域医療・患者支援(兼) 教授)

➤ 14：25～14：35

『がん診療ナビゲーター認定基準と研修プログラム』

桑野 博行

(群馬大学大学院病態総合外科学 教授)

➤ 14：35～14：45

『群馬研修モデルの特徴と研修申し込み手続きについて』

浅尾 高行

(群馬大学大学院がん治療臨床開発学講座 特任教授)

➤ 休憩

➤ 15：00～15：30

『医師をサポートする専門スタッフの育成トレーニングの効果と実務』

川島 史子

(日本医療コンシェルジュ研究所 特別顧問・シニアコンシェルジュ)



がん医療ネットワークナビゲーター制度

日本のがん医療の発展と進歩を促進し、国民の福祉に貢献することを目的として、一般社団法人日本癌治療学会では、認定がん医療ネットワークナビゲーターの育成を開始することとなりました。

かねてより当学会では、だれもが安心、満足できる理想のがん医療の一層の充実を目指して鋭意努力と検討を重ねてきました。がん患者困窮の3大要因は、医療情報の不足、高額医療費の支払い、精神的な寄り添いの不足に集約されることが指摘されてきました。このため、がん医療情報の提供は、患者・家族に対するがん相談支援としてがん対策の大きな柱の一つに位置付けられています。二次医療圏をカバーするがん診療連携拠点病院では、がん相談支援センターの設置が義務付けられ、その相談員は専門的研修の受講を義務付けられるなど、拠点病院でのがん相談支援事業は充実しています。しかし人員が絶対的に寡少であるなどその活動の展開には脆弱性の懸念があります。当学会では、拠点病院のがん相談支援業務を補完するようながん医療ネットワークナビゲーター（以下：がんナビゲーター）認定制度を検討しました。がんナビゲーターとは、がん情報の提供のみに特化した人材であり、医療実務には係わりません。すなわち、がんに関する正確な情報を的確、適切に患者・家族に伝え、患者・家族の疑問に答えて悩みを解決する手助けのできる在野のがん相談支援員と言えます。がんナビゲーターは必ずしも医療者資格を要せず、ピアサポーターや福祉・介護職などを含め、その地域のがん診療ネットワークに属している者が有資格者であり、当学会の所定の履修により資格が付与されます。

当学会では、関連する様々な組織・学会との連携と協同のもと、今秋から全国3地域（熊本・福岡・群馬）でモデル事業を開始します。なお、最終的な認定がんナビゲーターの人数は、がん治療認定医と同じ2万人を目標としています。

認定がんナビゲーター
プロフィール

Who might be?

薬剤師
看護師
ピアサポーター……

Where to meet?

主に病院の相談室

- すべてが未知の経験であるがんとの闘い
- 高齢化、独居化の進むがん患者
- 限定的な情報収集手段
- 玉石混交の膨大な情報
- “知る”ことは医療と生活の選択基礎
- 不十分ながん医療、医療サービス情報の提供体制
- 気質、高額の負担を支える医療コーディネーターの乱立
- がん診療提供体制の急速な変化

- がん診療連携機能の強化
- 地域ネットワークを機能させる効率的な情報提供体制の確立
- 地域がん医療情報に精通した「がん医療ネットワークナビゲーター」の養成
- 臨床・検診を結んだがん医療ネットワークナビゲーターの地域ネットワーク内配置による情報提供の強化モデル事業の実施
- 満足できるがん医療と社会生活を営むための具体的な情報をすべての患者に確実に伝える仕組みの構築

事業実施予定

平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>がん医療ネットワークナビゲーター教育プログラムの確定と基盤整備</p> <p>教育プログラムの立案・確定</p> <p>がん診療連携委員会での積極的かつ所定の教育プログラムの立案・確定</p> <p>日本癌学会、日本癌治療学会、日本看護協会、国立がん研究センターなどからも賛同</p> <p>e-ラーニングコンテンツの収録とアップロード</p> <p>研修・実習基盤の確立</p> <p>研修会の開催、実地研修受け入れ態勢の確保</p> <p>日本癌治療学会を主体としたがん診療連携拠点病院等での受け入れ、教育連携・コミュニケーションスキル研修の内容の決定と場所の確保等</p> <p>認定のための実務基盤の整備</p> <p>認定規則の確定 認定に関する業務、事務体制の確立等</p>	<p>がん医療ネットワークナビゲーター養成と認定</p> <p>日本癌治療学会教育試行事業としての養成と認定</p> <p>e-ラーニング コミュニケーションスキル研修 実地研修 情報の収集と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本癌学会、日本癌治療学会、日本看護協会、国立がん研究センターががん対策情報センターががん医療支援研究部による理学、研修、実習教育の支援 筑波大学先端情報メディアセンターによるe-ラーニングクラウドシステム（委託事業） がん診療連携拠点病院の相談支援センター、地域医療連携室、地域がん医療ネットワーク構築施設、機関等での実地研修 地域における様々ながん診療情報や在宅医療を旨とした医療サービス情報の収集 地域の医療機関や医療サービス、患者支援組織、ピアサポート、在宅や在宅ケア等も含めたがん医療ネットワーク生活支援サービス等の情報提供 地域連携クリティカルパスの情報の収集、その運用の支援と情報の提供 アクセス法も含め、施設試験の実施状況についての情報の収集、情報の適切な提供 	<p>がん医療ネットワークナビゲーター現場配置によるモデル事業の実施</p> <p>在宅医療連携機関</p> <p>患者支援組織、ピアサポーター、がん医療ネットワークナビゲーター、がん診療連携拠点病院、相談支援センター、地域医療連携室等</p> <p>がん年齢調整死亡率の異なる熊本、群馬、福岡3地域でのモデル事業</p> <p>日本癌治療学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本看護協会による実施支援</p> <p>効果、発展性、課題の検証</p> <p>展開継続の可否決定</p>

「がん医療ネットワークナビゲーター」による情報提供体制の強化

人材養成の継続、医療情報提供体制の構築

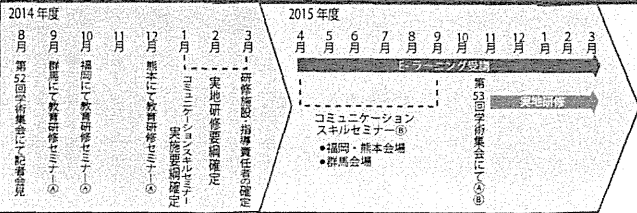
がん患者の悩みに寄り添った情報を提供することによって患者に伝える仕組みの確立

がん相談支援センターの機能の強化

分野別施策と個別目標

- 地域変動型の医療・介護サービスを提供できる体制の構築と必要人材の養成
- がんに関する相談支援情報提供
- 全体目標

全てのがん患者とその家族の苦悩の軽減と医療生活の質の維持向上



【2014年開催教育セミナー】

- 群馬 ● 日時：平成 26 年 9 月 13 日（土）14:00～16:00 場所：群馬大学医学部（昭和キャンパス）刀城会館
1. 「がん診療ナビゲーターの役割」 西山 正彦（群馬大学大学院病態腫瘍薬理学）
 2. 「群馬県のがん対策推進事業」 山崎 浩通（群馬県健康福祉部 がん対策推進室 室長）
 3. 「がん診療連携パスの運用と実態」 齋藤 繁（群馬大学大学院麻酔神経科学）
 4. 「がん診療ナビゲーター認定基準と研修プログラム」 桑野 博行（群馬大学大学院医学系研究科病態総合外科学）
 5. 「群馬研修モデルの特徴と研修申し込み手続きについて」 浅尾 高行（群馬大学大学院医学系研究科がん治療臨床開発学）
 6. 「医師をサポートする専門スタッフの育成トレーニングの効果と実務」 川島 史子（日本医療コンシェルジュ研究所 特別顧問・シニアコンシェルジュ）
- 福岡 ● 日時：平成 26 年 10 月 26 日（日）13:00～16:00 場所：福岡国際会議場
1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学）
 2. 「ナビゲーターに必要な知識①（基礎編）：EBMと臨床試験」 調 憲（九州大学大学院消化器・総合外科学）
 3. 「ナビゲーターに必要な知識②（基礎編）：患者リテラシーと情報収集法」 佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
 4. 「ナビゲーターに必要な知識③（応用編）：がん相談支援の実際」 竹山 由子（九州がんセンター）
 5. 「デモンストレーション」 北嶋 晴彦（大牟田市立病院）、織田 久美子（社会保険 田川病院）
 6. 「パネルディスカッション」
- 熊本 ● 日時：平成 26 年 12 月 7 日（日）9:00～12:00 場所：くまもと県民交流会館ハレア
1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 片渕 秀隆（熊本大学大学院生命科学研究所産科婦人科学分野）
 2. 「EBMと臨床試験」 吉田 稔（日本赤十字社熊本赤十字病院腫瘍内科）
 3. 「リテラシーとインターネット情報」 佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
 4. 「がん相談支援において必要な知識とスキル」 稗田 君子（熊本大学医学部附属病院がん相談室）
 5. 「デモンストレーション」 堀田 めぐみ（がんサロンネットワーク熊本）、里山 弘子（熊本県私のカルテがん診療センター）

「がん医療ネットワークナビゲーター制度」とは？

【定義】

がん医療を受けるために必要な医療関連情報、生活支援情報等に関する適切な助言・提案・支援を行うに十分な知識と素養を習得した者である。ただし、医療介入に関してはこれを禁ずる。

【業務規定】

- (1) 地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する。
- (2) がん患者・家族等の求めに応じ、がん診療情報や医療サービス情報を適切に提供する。
- (3) 地域連携クリティカルパスの運用支援を行う。
- (4) 臨床試験・治験に関する情報を適切に提供する。
- (5) 医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない。

【申請資格】

申請時前 3 年の間に (1)～(4) をすべて満たしていること；

- (1) 指定された e-ラーニングシステムにおいて 30 科目を聴講し、すべての小テストを受験し合格し、修了証を取得していること。
- (2) ①、②、③のうちいずれか 1 つに参加し受講証を取得していること。
 - ① A セッション：教育研修セミナー、B セッション：コミュニケーションスキルセミナー
 - ② 「がん相談支援センター相談員基礎研修」または「がん総合相談研修プログラムがんサロン編「より良いグループ・サポートを進めるために」を用いて開催される研修会
 - ③ その他、日本癌治療学会が認めるセミナー、研修会など
- (3) 日本癌治療学会の定める研修施設において実施研修をし、指導責任者による証明がなされていること。
- (4) 申請時にかん医療に関わる地域医療ネットワークに参加している施設・組織に所属していること。

【費用】

e-ラーニング受講認定証発行 10,000 円
セミナー受講料 8,000 円～10,000 円
審査申請料 5,000 円
認定料 10,000 円

【運営・主催】

日本癌治療学会 がん診療連携委員会、認定ナビゲーター制度委員会

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本癌治療学会 東京事務所・花田 Tel：03-5542-0546 Fax：03-5542-0547 e-mail：navi@jsco.or.jp

今までとは違う形で医療に携わりたい!

がん医療に関わる仕事をしたい!

厚生労働科学研究(がん政策研究)推進事業
がん医療従事者向け研修会

がん医療ネットワークナビゲーター 育成制度と資格認定

平成26年度厚生労働科学研究費補助金(がん政策研究事業)
がん医療ネットワークナビゲーターによるがん医療情報提供強化プロジェクト:
情報が確実に手元に届く地域連携モデルの構築(H26-がん政策-一般-007)

- ◆ 日程: 平成26年9月13日(土)
- ◆ 時間: 14:00~16:00
- ◆ 会場: 群馬大学医学部 刃城会館
- ◆ 主催: 群馬大学大学院 病態腫瘍薬理学
群馬大学大学院 病態総合外科学

公益財団法人 日本対がん協会 がん対策推進総合研究推進事業

がん診療連携において、主治医と患者の間に立つて円滑かつ確実なサポートを行うために必要な知識を学び、同時に即戦力となるようなスキルを磨きます。
まずはこの説明会に参加をし、日本の未来医療を担う新しい仕事について知ってください。
今まで医療の仕事に携わったことがない方でも大丈夫。年齢性別も問いません。
たくさんの方のご参加をお待ちしております。

◆ 【連絡先】群馬大学 がん治療臨床開発学講座 【担当】松井 由佳 ◆

【TEL】027-220-8224 【FAX】027-220-8230 【e-mail】yukamats@gunma-u.ac.jp

【資料6. 認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：Aセッション 福岡開催プログラムおよび会場風景】



一般社団法人日本癌治療学会
がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in FUKUOKA
プログラム

日 時：平成 26 年 10 月 26 日 (日) 13:00~16:00

会 場：福岡国際会議場 中会議室 411+412

総合司会	相羽 恵介 (東京慈恵医科大学内科学講座腫瘍・血液内科/認定ナビゲーター制度委員会委員長)
13:00	開会挨拶 前原 喜彦 (九州大学大学院消化器・総合外科学/日本癌治療学会前理事長)
13:05~13:30	「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 西山 正彦 (群馬大学大学院病態腫瘍薬理学教授/日本癌治療学会理事長)
13:30~13:50	「ナビゲーターに必要な知識① (基礎編)」：EBM と臨床試験 調 憲 (九州大学大学院消化器・総合外科学)
13:50~14:20	「ナビゲーターに必要な知識② (基礎編)」：患者リテラシーと情報収集法 佐々木 治一郎 (北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門)
休憩	10分
14:30~15:00	「ナビゲーターに必要な知識③ (応用編)」：がん相談支援の実際 竹山 由子 (九州がんセンターがん相談支援センター)
15:00~15:30	「デモンストレーション」 北嶋 晴彦 (大牟田市立病院地域医療連携室) 織田 久美子 (社会保険田川病院患者相談情報センターがん相談支援センター) 岩崎 瑞枝 (ファイナルステージを考える会)
15:30~15:50	パネルディスカッション
15:50~16:00	最後に 片淵 秀隆 (熊本大学大学院生命科学研究部・産科婦人科学分野/がん診療連携委員会委員長)

「がん医療ネットワークナビゲーター」

教育研修セミナーin 福岡

主催： 一般社団法人日本癌治療学会

開催日時：平成26年10月26日（日） 13:00～16:00

開催場所：福岡国際会議場 中会議室 411+412

総合司会 相羽 恵介

(東京慈恵医科大学内科学講座 腫瘍・血液内科/認定ナビゲーター制度委員会委員長)

13:00～

開会挨拶

前原 喜彦

(九州大学大学院消化器・総合外科学/日本癌治療学会前理事長)

13:05～13:30

「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」

西山 正彦

(群馬大学大学院病態腫瘍薬理学教授/日本癌治療学会理事長)

13:30～13:50

「ナビゲーターに必要な知識①（基礎編）」：EBMと臨床試験

調 憲

(九州大学大学院消化器・総合外科学)

13:50～14:20

「ナビゲーターに必要な知識②（基礎編）」：患者リテラシーと情報収集法

佐々木 治一郎

(北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門)

休憩

10分

14:30～15:00

「ナビゲーターに必要な知識③（応用編）」：がん相談支援の実際

竹山 由子

(九州がんセンターがん相談支援センター)

15:00～15:30

「デモンストレーション」

北嶋 晴彦

(大牟田市立病院地域医療連携室)

織田 久美子

(社会保険田川病院患者相談情報センターがん相談支援センター)

15:30～15:50

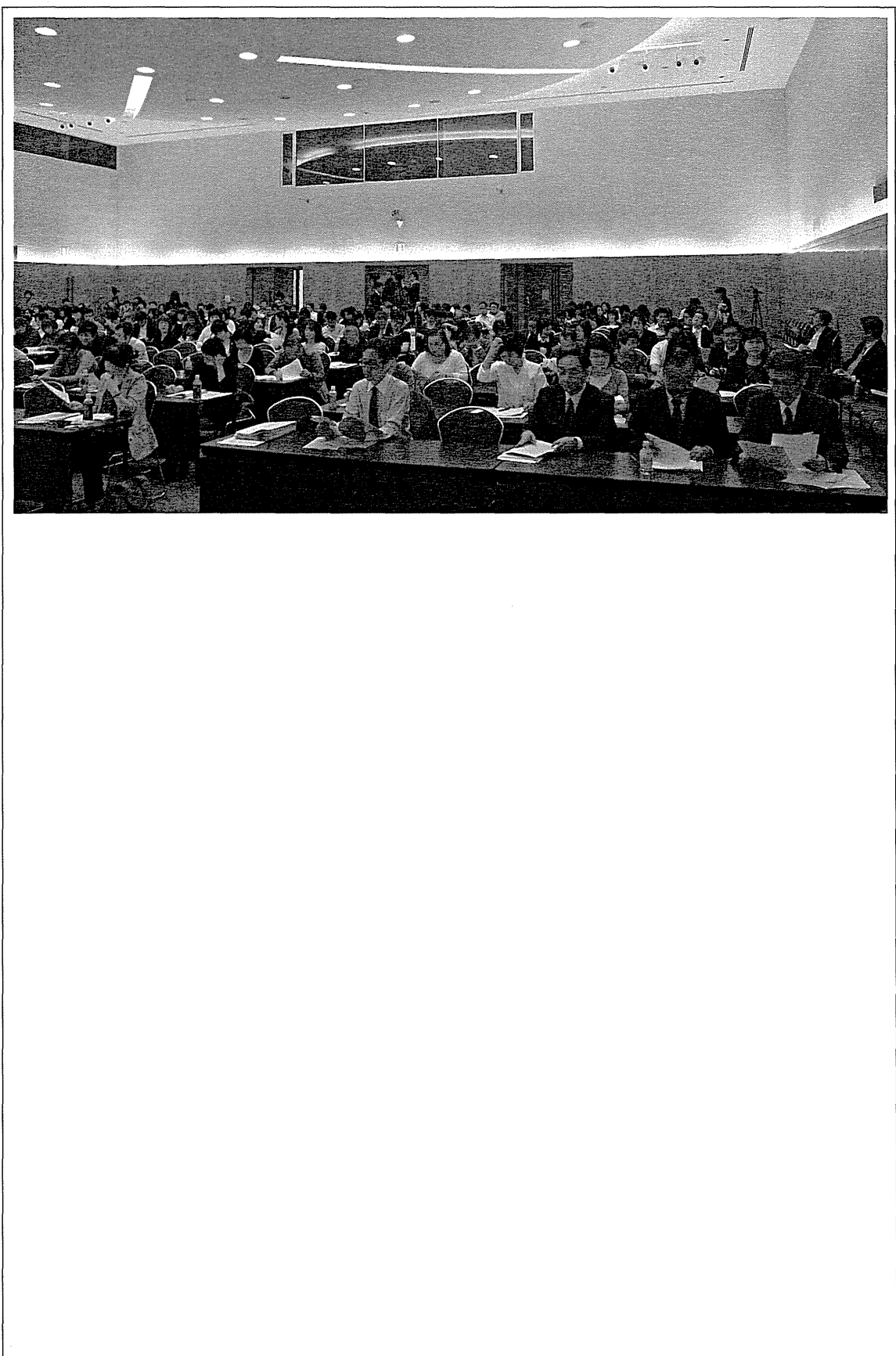
パネルディスカッション

15:50

最後に

片渕 秀隆

(熊本大学大学院生命科学研究部・産科婦人科学分野/がん診療連携委員会委員長)



【資料7. 認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：Aセッション 熊本会場ハンドアウト】

厚生労働科学研究（がん対策研究）推進事業 がん医療従事者向け研修会
「がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in 熊本」

主催：厚生労働省科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業研究班
共催：公益財団法人日本対がん協会、一般社団法人日本癌治療学会
後援：熊本県、熊本県医師会、熊本県薬剤師会、熊本県看護協会
熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会、熊本大学医学部附属病院
熊本県「私のカルテ」がん診療センター

開催日時：平成 26 年 12 月 7 日（日）午前 9 時～午後 12 時
開催場所：くまもと県民交流館パレア（テトリアくまもと 10F ホール）

【司会】

片瀨 秀隆（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学 教授
日本癌治療学会がん診療連携委員会委員長）

- 9:00～ 開会の挨拶
西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学 教授
日本癌治療学会理事長）
川本 利恵子（公益財団法人日本看護協会 常任理事）
- 9:05 ～ 9:30 『がん医療ネットワークナビゲーター制度とは』
西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学教授
日本癌治療学会理事長）
- 9:30 ～ 10:00 『EBM と臨床試験』
吉田 稔（日本赤十字社熊本赤十字病院 血液腫瘍内科 部長）
- 10:00 ～ 10:30 『リテラシーとインターネット情報』
佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター 教授）
- ≪ 休憩 ≫ 20 分
- 10:50 ～ 11:20 『がん相談支援において必要な知識とスキル』
稗田 君子（熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター長）
- 11:20 ～ 11:50 『デモンストレーション』
境 健爾（済生会熊本病院腫瘍・糖尿病センター 部長）
堀田 めぐみ（がんサロンネットワーク熊本 代表理事）
里山 弘子（熊本県「私のカルテ」がん診療センター）
緒方 美穂（熊本市民病院がん相談支援センター長）
穴井 あゆみ（熊本市民病院地域医療連携室）
山下 貴容子（熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター）
上井 真理（熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター）
- 11:50 ～ 12:00 質疑応答
- 閉会の挨拶
富田 尚裕（兵庫医科大学外科学講座 下部消化管外科 教授
日本癌治療学会 P A L プログラムワーキンググループ委員長）
相羽 恵介（東京慈恵会医科大学内科学講座腫瘍・血液内科 教授
日本癌治療学会認定ナビゲーター制度委員会委員長）

がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in 熊本

資料目次

1. がん医療ネットワークナビゲーター制度とは..... 1
西山 正彦
群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学教授／日本癌治療学会理事長
2. ナビゲーターに必要な知識①：EBM と臨床試験..... 19
吉田 稔
日本赤十字社熊本赤十字病院 血液腫瘍内科 部長
3. ナビゲーターに必要な知識②：リテラシーとインターネット情報..... 34
佐々木 治一郎
北里大学医学部新世紀医療開発センター 教授
4. がん相談支援において必要な知識とスキル..... 49
稗田 君子
熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター長
5. デモンストレーション..... 61
境 健爾
済生会熊本病院腫瘍・糖尿病センター 部長
堀田 めぐみ
がんサロンネットワーク熊本 代表理事
里山 弘子
熊本県「私のカルテ」がん診療センター
緒方 美穂
熊本市民病院がん相談支援センター長
穴井 あゆみ
熊本市民病院地域医療連携室
山下 貴容子
熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター
上井 真理
熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター

平成26年12月7日
くまもと県民交流館バレア

がん医療ネットワークナビゲーター 制度とは

西山正彦



群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学
教育研究支援センター医療開発医科学部門
医学部附属病院トランスレーショナルリサーチセンター



日本癌治療学会



がん対策の歩み

わが国のがん対策の歩み

